

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部長 関 一誠



第55回早慶戦の開催おめでとうございます。

早稲田大学は本年125周年を迎えました。創立者大隈重信が「人生125歳説」を唱えたことから、大隈講堂の時計台は125尺に、最近建立された大隈記念タワーはその2倍の250尺の高さに建てられております。そのことから、本年は大学全体が特にこだわりを持って2007年で、バドミントン部もそれに呼応して何とか好成績を残したいと部員一同がんばっております。

バドミントン競技は、日本では戦後更盛になったスポーツですが、そのパイオニア的存在は、なんと言っても早慶バドミントンで最古の大学定期戦、伝統ある歴史の中で早慶のグレイヤーが国内外で担ってきた功績は計り知れないものがあります。

本年はバドミントン競技初参加となったユニバーシアードへ2人の選手を送り出すことができました。来年のオリンピックには選手ばかりでなく、さまざまな形で早慶の関係者がかかわることが期待されます。

おかげさまで、早稲田の部員も、一時はリーグ戦のメンバーに事欠くこともありましたが、数が増えるにたがって、少しずつ戦績が上昇し、現在は約30人の部員で賑やかに練習しております。女子の攻勢に男子がたじたじとなる状況も見られましたが、現在は、男子の巻き返しが始まったとも言えます。春季シーズンの成果をもって、秋季シーズンの真の直中である早慶戦に全力で立ち向かい、秋季リーグ戦、全日本インカレの優勝に近づきたいと願っております。勝つことは難しいし、容易なことではありませんが、節目である第55回早慶戦を契機として、両校の更なる活躍を期待します。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 栗田裕巨



第55回早慶定期戦が慶應義塾大学で開催されることをお慶び申し上げます。

今年、平成19年は早稲田大学にとって創立125周年を迎える極めて特別な年であります。

それは、早稲田大学創立者・大隈重信が常々「人生125歳説」を持説として語っていたことが由来であり、「人間は本来、125歳までの寿命を有している。適当なる棋生をもってすれば、この天寿をまっとうできる」というものです。

その根拠は、「生理学者の説によると、凡ての動物は成長期の五倍の生存力を持っている。そこで人間の成熟期はおよそ二十五歳というから、その理屈から推してその五倍、百二十五歳まで生きられる」(大隈重信述「人壽百歳以上」)というものです。

この記念すべき年に当たり、競技スポーツセンターに所属する各体育部は全国制覇を目指しており、既にスキー、野球、軟式野球、軟式庭球、卓球などの各部が達成しております。我がバドミントン部もこの早慶定期戦プログラムが皆様のお目に触れる時、輝かしきインカレ優勝を達成してくれていることと思えます。

今年度の早慶定期戦は、全国制覇を目指す早稲田大学に対し慶應義塾大学が挑戦する形になることは否定できないと思えますが、個々の試合においては予測し得ないような展開になる可能性もあります。

昨年導入されたラリーポイント制も十分消化していると思いますので、集中力が途切れない熱戦が繰り広げられることを期待します。

部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 渋谷誉一郎



本年も早慶バドミントン定期戦が10月28日、日吉記念館において開催される運びとなりました。定期戦は今年で55回を数えます。お喜び申し上げるとともに、常日頃から早慶バドミントン部のためにご指導ご支援頂いており、ます諸先輩をはじめ、監督、コーチ等々のスタッフ諸氏に対し、心より御礼申し上げます。

私は関場武前部長を引き継ぎ、今年度より慶大バドミントン部部长に就任いたしました。これまでバドミントンの経験は皆無です。就任後、慌ててルールブックや初心者向けのガイドブックを漁って勉強しましたが、ラケットに触ったことさえありません。こんなありさまで部長が務まるのか、不安を覚えないではありませんでした。しかしそれはまったくの杞憂でした。部員諸君はきっちり練習メニューをこなして、関東学生選手権では男子女子ともに4部優勝を果たし、入替戦では宿願の3部復帰を獲得しました。部員諸君とともに喜び、また私が励まされたように思えたものです。しかし、関東学生選手権では、麻疹騒動によって予防接種の間に合わなかった選手が、参加を断念せざるを得なかったのは何とも残念でした。加えて大学の指導が十全でなかったのも悔やまれます。今後の教訓として銘記しなければなりません。

今年には早稲田では創立125周年を祝って、さまざまなイベントが催されると伺っております。来年には慶應も150周年を迎えますが、早慶バドミントン部は50年、60年という長い歴史を誇ってきました。言うまでもなく、そこで培われた伝統は何物にも代えがたいものです。今後とも早慶の交流において切磋琢磨する中で、バドミントン魂にさらなる磨きがかかるのを期待しています。私自身、まだまだ至らない点が少なくありません。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 小杉良雄



今年には早稲田大学創立125周年、一方慶應義塾大学創立150周年の前年に当たります。100年有余に渉る好敵手同士の間対抗戦の中で、我がバドミントン部も第55回の定期戦を迎えることになりました。改めて伝統の重みと好敵手を持つ幸せを感じざるをえません。今年も夏は地球温暖化現象からの影響か(?) 35度C前後の酷暑が、少なくとも続きました。皆さんそれぞれ大変だったと思います。観戦・応援も定期戦当日の日吉は涼しさに包まれ、プレーしていることでし。現る人にとつて間違いなく快適な環境となっており壊しが予定されてお日吉記念館(100周年時建設)は来秋にも取り壊しかねないと思っております。出を携えて多勢参加して欲しいと願っています。

さて慶應ですが、昨年より部員層は更に充実し一致団結した勢いが感じられます(男女合わせて28名)。男子は今春の入替戦に勝利し3部リーグへ復帰、女子も秋の入替戦機に感じています。これ等総合力では早稲田に肉薄出来るか大いに楽しみにしております。勿論大勢として明らかに不利は否めませんが、体・技・心・のうち、技を除けばきつと対等に精一杯のプレーを見せてくれるものと期待しています。

一方、早稲田の学生諸君は一度コートに立ったならば1部リーグ校の実力と早稲田魂を存分に発揮して欲しいと思います。それが早慶戦を華あるものとするでしょうし、また慶應への刺激にもなります。今やラリーポイント制もすっかり身に着いたことでしょうし、今日は特別の日、お互い青春の思い出に残るそして感動を与える早慶らしいゲームを一つでも多くやろうではありませんか。

では現役・OBそして関係者一同にとつて楽しい一日となることを祈っています。

今年も早慶両校の現役、OBが一同に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦も今年で第55回を迎えることになりました。これもひとえに諸先輩方の努力と熱意の賜物と感謝申し上げます。

また、今年も監督として戦えることに感謝するとともに大変光栄であり嬉しく思います。

今年の我が部は男子が関東大学春季リーグ戦において4位と健闘しました。これも部員一同が一丸となり戦った結果であり、また、昨年多くの4年生が卒業しましたが負けないくらい新入生が入り、チームが若返り、より一層元気なチームとなりました。

女子においては1部に定着し、春季は4位に甘んじてしまいましたか部員も増え、この成績は着実に力を付けてきた証拠と思っております。男女とも、今後、必ず良い結果を残せると信じておりますので期待してください。

さて、今年の定期戦ですが、全員で一丸となり慶應に臨み、是非勝利をものにしたと思います。しかし、いつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。選手諸君には今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を充分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしいと思います。特に4年生の目下、鏑木、金子、丸山、金森、木村、平山には学生最後の定期戦として、後輩達の見本となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして、良き思い出をつくってください。

最後に、今年も慶應の現役、OB諸氏と共により良い試合を展開し、より両校の友好が深まることを望みます。

WASEDA VS KEIO

目指せダブルでダブルでダブルでダブルで

がんばれ早稲田!



ESPA

営業支援システムのエキスパート
株式会社エヌパ



〒130-0026 東京都墨田区両国 3-19-5 シュタム両国ビル2F

TEL 03-5624-7231 FAX 03-5624-7232 URL: <http://www.e-space.ne.jp/espa/>
 ナレッジポータル構築システム『InfoStep』URL: <http://www.infostep.net>

代表取締役 細村 悦子
(S60年度卒)

1882年10月、都の西北 早稲田の杜に、早稲田大学の前身となる東京専門学校が産声を上げた。我が慶應義塾にとっては、永遠の好敵手の誕生である。以来、あらゆることにおいて早慶は比較されてきた。と言っても、単純な敵対関係ではない。早慶が相對する試合では、両校が共に勝利にこだわりつつも、それを超えたところでお互いの存在を認め合った友好的な関係が築かれてきたのだ。切磋琢磨しあううちに、自己を高めるためには、お互いになくはならない存在となってきたのである。これからも永遠にこの関係を続けていきたいと願う。

『学問は脳、仕事は腕、身を動かすは足である

しかし、いやしくも大成を期せんには、先ずこれらを統 (す) ぶる意志の大いなる力がある
これは勇氣である』

早稲田大学創立者である大隈重信侯の有名な台詞だ。大成を期そうとするならば、脳を動かせるにも、腕を使うにも、足を動かすにも、自己の意志である“勇氣”という大いなる力が必要なのである。まさに真理を突いている。良いものは万人に良く、正しいことは常に正しい。名言には早慶もライバルもない。我が慶應バドミントン部も“勇氣”を大切にしたい。

東京専門学校が創立されてから125年後の今日2007年10月、日吉の丘にて、第55回早慶バドミントン定期戦が開催される運びとなった。早稲田バドミントン部員達は、「すぐりし精銳、闘志は燃えて」(早稲田大学応援歌「紺碧の空」より)の心意気で、今年も慶應に立ち向かってくるであろう。しかし、我が慶應バドミントン部員達は、「精銳我にあり、力を溢れたり」(慶應義塾大学応援歌「我ぞ覇者」より)と意気高く、若き力を結集し闘いに挑む志は大いに燃えあがっている。さあ勇氣を奮い立たせ、今年も伝統の早慶戦を闘おう。「ふたつの校旗 あざやかに おお花の早慶戦 熱き心の若人われら レッツゴー!」(学生歌「早慶讃歌-花の早慶戦-」より)

KEIO VS WASEDA

「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! 其の他のパーティーに!

山 食

慶應義塾三田キャンパス内

TEL 03(3453)5971

早稲田大学 教育学部 昭和47年卒
及川 憲一

夏の仙台で東日本大学生選手権が行われた。応援に行った数日後、主務の金子から夜電話をもらい、「早慶戦に寄せて」という題で文章を書いてほしいと頼まれた。宿題を課された小学生の気持ちになった。宿題には汗をかき、口で息をしなからこの文章を書いている。ウサギ跳びをしている時とこれでは同じだ。ウサギ跳びはもうたぐさんだ。

私の学生時代を振り返ると、今井（監督）との思い出が、とりわけバドミントンよりもそれ以外のことの方がより頭に残っている。不思議なものだ。その時々一生懸命にやれば、勝ち負けはどうでもいいことなのかも知れない。

特に印象に残っているのは、学生時代に今井と食べた「おでん」の味である。今井の下宿に夕方行った時、銭湯へ行く支度をしたから「及川、おでん喰いに行こう」と言った。で、つまり私は銭湯に入った後おでん屋に行くんだとはっかり思っていたら、何と銭湯の前で営業していた屋台のおでん屋のことだった。どうも今井は銭湯に通いながらその屋台のテキヤ風のお兄さんと仲良くなったらしく、お兄さんが風呂に入っている間、店番をし、店番をしなからおでんを好きなだけ食べるとのことだった。「及川、喰えよ、喰えよ」。今井がどうもいっい友達に見えた。

以来、あの時のおでんを越える味に出逢っていない。こんなにおでんがおいしく感じたのは4年間一緒にバドミントンをしたときに戦った仲間と食べたからだろう。

最後に4年生へ、早慶戦は学生の仲間と最後にはバドミントンをする機会である。バドミントンは人生のほんの一部分に過ぎないが、仲間は一生の付き合いとなる。早慶戦にはおでんはないが、試合やお酒を通じて早稲田の仲間やOBと、慶應の方々と友好を広げたい。

下級生へ、そんな4年生を見習って、早稲田は早稲田の、慶應は慶應のチームの結束力を深め、他の大学をリードするチームづくりをしてもらえれば幸いである。4年生は今大会で引退となり、これからの主役はあなた達になるのだから。

本当はもっと丁寧に書けばよかったのだが、もう免役力が底を突きついてきていてこれ以上エネルギーを使うと立ち直れなくなりそうだ。早慶戦に寄せてという題になったかどうか分からない。勝ち負けは、まっ、いっいでしよう。

WASEDA

早慶戦
寄らせて

KEIO

早稲田大学 スポーツ学部 平成19年卒
芳賀 涼

第55回早慶バドミントン定期戦の開催おめでとうございます。本年も両校による熱い戦いが繰り広げられることを期待しております。

私にとって早慶戦は、独特の存在感を持った試合でした。普段よりも多くの先輩方、応援団を背にした試合はとても緊張感があり、引退した今でも試合中の光景、感情が思い起こされます。現役の皆さんはぜひこの緊張感を楽しみ、もしくは緊張感に打ち勝ち、全力で最高のプレーをOB・OGに見せてください。

また、ともに戦った仲間とすぐに和やかに食事やお酒を共にすることのできる場があることも、早慶戦の醍醐味だと思います。現役の皆さんはぜひ「夜の試合」も全力を尽くしてください。全力で多くの方のバドミントン観・人生観を聞いてまわり自分の糧にするもよし、昼間負けた相手には全力で酒で勝ちにいっくのもよしだと思います。とにかく「早慶戦ならでは」のことがたくさんあると思いますし、それを楽しんでいっい仲間や思い出を作って頂きたいと思っています。

4年生の皆さんにとっては、この早慶戦が最後の試合になるはずです。4年間本当にお疲れ様でした。これからは私たちOB・OGの一員として後輩を見守っていきましょう。3年生以下の皆さんは、受け継いだ伝統に自分達の味を加え、ぜひ先輩方の記録を塗り替えられるよう練習に励んで欲しいと思います。

最後になりましたが、この定期戦を開催、運営するにあたり、大変なご苦労をなされた監督、コーチ、諸先輩、主務、副務の皆様方に厚くお礼を申し上げ、両大学のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

日吉記念館の思い出

慶應義塾創立150年記念事業の一つとして、バドミントン部も永く使用してきた日吉記念館が今年の早慶戦を最後として新たに建て替えられることになったことは誠に喜ばしい。その一方昭和35年卒業の私にとつては、少しばかり寂しくもあり、特に感慨深いものがある。現記念館は義塾創立100年を記念して、我々が4年生の時に完成したもので、その3分の1をバドミントン部の専用コートとして最初で使用するという恩恵に浴することが出来たと喜ぶ一方、完成を見ずして卒業した先輩諸兄には少しばかり申し訳ないような気がした。それまでは2面しか取れない幼稚舎の体育館などを夜間に借りて練習してきたことから考えれば、自前の3面のコートや部室は夢のようなことで部員一同大いに張り切っていて練習にも随分熱が入っていたように思う。特にシギエラー以外の一般部員や新入部員などはコートに入る機会が増えたと喜んだものである。でも当初は両窓側を前後にしていたためシャトルが見にくく、レジャーコートを90度変更して貫うよう確か野島マナージャ等が奔走し、翌年だかに1面増えた上に現在の向きになったと記憶している。

また、窓を閉め切つて練習するため、夏場には共用していたバスケット部の連中などから暑い喜いとよく文句を言われたものである。それに、この記念館で天皇陛下をお迎えして元バドミントン部長の奥井塾長が式典でご挨拶されていたのをテレビで見ても誇らしく感じたことを今でも思い出す。昭和34年度の早慶戦は、こけら落としとして日吉記念館で開催したが、私も4年生となつて初めて早慶戦に出場することが出来、その意味でも日吉記念館は心に残るものとなっている。

卒業以来50年近い間に、同期生11人の内、早慶戦でダブルスを組んだ丹羽君や、野島君、都築君、それに土田(旧姓岡本)さんの4人が魂籍に入つてしまった。彼らと一緒に150年記念館を見られないのはなんとも淋しいが、現役諸君が新しい記念館で新たな気持ちを持って練習や早慶戦に頑張つて欲しいと願っている。

KEIO 慶早戦 寄らせて WASEDA

慶應義塾大学 法学部政治学科 昭和57年卒
大西紀幸

今年も歴史と伝統の早慶バドミントン定期戦が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。今回このプログラムへの投稿の依頼をお受けした際、現役当時(S54~57)の懐かしい思い出が蘇ってきました。私が1年生の時は早慶とも関東大学リーグでは1部同士で、リーグ戦での対戦時にも両校が校歌を交換しあい、1コートだけが異常に盛り上がりがあったのを思い出しました。また現役の4年間の早慶戦において、女子は勝ち続けていましたが、男子は1度も勝つ事はできませんでした。しかし内容としてはどの年も、どの試合も接戦ばかりで、あと一歩のところでも逆転できてもおかしくないと思つておりました。しかし、今となつてはそれが実力の違いなのか、とも感じております。私個人として一番の思い出の試合は、4年生最後のダブルスを現慶應監督の五月女君と組んで、堀井・岩淵ペアと対戦したことです。実力では全く敵うはずもない相手でしたが、早慶戦という特別な思いの中、どうかして勝ちたいと、必死でシャトルに食らいついでいたのを思い出します。慶應にとつて早慶戦というものは、たとえリーグ戦や他の試合でどんな相手に負けたにせよ、早慶戦に勝利すれば許される！というくらい特別な試合です。伝統ある早慶戦というものは、バドミントンの力は元より、「人間力」も併せて向上させてくれます。「悔いなく」と言うのは容易いですが、実際にはそれなりの力をつけていないと実現できません。しかし、是非とも今までの辛くも、充実した練習の成果や想いがすべて早慶戦に出せるよう、「悔いなく」精一杯戦っていただきたいと思います。願つております。来年度早慶の記念館が建替えるため取り壊されます。したがって今回が記念館での最後の定期戦となります。私としては、戦況はもちろん、記念館も併せて楽しみたいと思つております。もちろん慶應の勝利を祈りながら！

菅野俊助

伝統ある早慶バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることを嬉しく思うとともに白熱した名勝負が展開されることを非常に期待しております。

早慶戦といつて最初に思い出されるのは、リーグ戦やインカレとは違ったその独特な雰囲気、盛り上がり、慶應諸君との試合上の交流です。昨年の最後に行なわれた広田君、小池君とのダブルスは今でも鮮明に思い出されます。広田君とは4年間で2回も早慶戦で対戦しました。もちろん勝利を目指して試合を行なっていたわけですが、ただ勝つこと、それだけではなく、早慶戦の中には他の試合で感じることでできない「何か」があったと思うのです。私の場合は広田君とは宿敵として、同じ主将として、また勝敗を超えたよき仲間のような存在でした。現役生は、私が見つけたように、早慶戦だから得られる「何か」を見つけていただければと思います。

昨年の早慶戦は東日本学生選手権、秋季リーグ戦、インカレのあとに開催されて非常に慌しい中での試合でありましたが、この早慶戦での勝利が次に続く新人戦や次年度の数多くの大会へのステップになったように思われます。今年の夏に早稲田が女子団体で東日本学生選手権優勝したことも、早慶戦を経験して一回り成長したからこそ成し得たことだと確信しております。この大会を機に早慶両校がバドミントン界をリードしていくことを、OBとして期待しております。そのためには、早慶両校の後輩諸君には実力を遺憾なく発揮し、次につながるプレーを披露することが必要だと考えております。

そして、試合後の「酒」においても、もちろん同様です。早慶両校の交流を深め、かつお互いに負けずに十分に飲み合ってください。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、早稲田大学創立125周年に相応しい大会になるように御健闘をお祈り申し上げます。

WASEDA

早慶戦
寄らせて

KEIO

早稲田大学バドミントン部推薦

今ど昔のおいしい料理

料理うまいもの100選

居酒屋 春夏秋冬
☎3200-7977

早稲田方面
TEL.3200-7977
高田馬場2-17-1
(伊勢屋ビルB1)

早稲田通り

早稲田方面
名店ビル
● 茗林堂書店
● 東海銀行

早稲田通り

早稲田方面
● コーナーコーナー
● 春夏秋冬 → ●
フカーズキッチン
パチンコ店

高田馬場駅

BIG BOX

〒新宿

慶應義塾大学 理工学部 平成19年卒 (前年度主将)

広田 崇

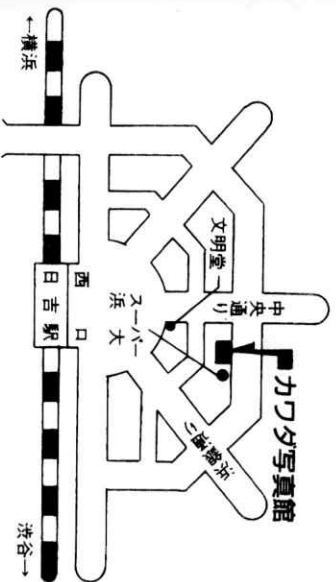
第55回早慶バドミントン定期戦開催おめでとうございます。また両校準備委員をはじめ大会関係者の方々に感謝を申し上げます。本大会開催にあたり、昨年度の主将として大会の所感を申し上げさせていただきます。

現役の時より常々、本大会は両大学にとってどのくらい重みのあるものだろうかと考えていました。近年開く一方である両大学の勝敗差。そして、かけ離れてしまった両校の所属リーグ。誰が見ても実力の劣る慶應が、格上の早稲田に戦いを挑み、早稲田がそれを受けて立つといった感じでしょう。かつて、両校が互いにライバルとして切磋琢磨しあった本大会の重みは、今両校の間にあるこの重みと等しいのでしょうか。そうは思えません。試合を見れば、早稲田の選手に比べて試合経験や実力が劣る塾の選手たちは、試合が始まるとみな浮足立ったかのようで、ミスを連発し、たやすくノータッチを取られる場面が多く目につきます。終始リラックスし、落ち着き払った様子でプレーする早稲田の選手たちとはあまりに対照的です。早稲田の人はしばしば、「もつとがんばってくれよ慶應」、「早慶戦が盛り上がり上ければ勝ち負けなんでもいい」などと言われますが、早稲田に対抗心を燃やす者としては、馴合いではなく、常に勝利を意識しています。当日は早稲田の日下主将に必死に食らいつく手塚の勇姿が見られることでしょう。また、手塚をはじめ、中村、吉永、宏志、高橋の5人で築いてきたチームが全員一丸となって早稲田に立ち向かい、勝ちに執着したプレーを見せてくれることを期待しています。最上級生の人は、現役最後の試合を悔いのないように精一杯戦ってください。最後になりますが、本大会がすばらしい大会となることを祈念いたします。



- 卒業記念写真
- 出張記念写真

- 各種証明写真
- 就職用写真



茗荷谷写真館

〒223 横浜市港北区日吉本町 1-2-7
Tel 045(562)3668(スタジオ)
045(562)3667(自宅)
営業時間 午前10時～午後6時

今年も早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で55回を数えるこの歴史ある大会に主将として出場できることを最高の名誉と感じております。また早稲田大学創立125周年にあたります今大会において、主将として必ず我が部に勝利をもたらさなければならぬという責任感を強く感じる次第であります。

さて、我が早稲田大学バドミントン部は、今年の春季リーグ戦で男女共に1部4位と十分に満足できる成績ではありませんでした。その悔しさをばねに部員一丸となり厳しい練習を積み、苦しい合宿を乗り越え、秋季リーグ戦男子5位、女子準優勝という成績を収めました。女子は躍進して、男子は順位を落としてしまいました。現在のレベルの高い関東大学1部リーグに残留したことを誇りに思います。

また実績だけでなく、団体戦でこそ真の強さを発揮する早稲田の勢いに是非ともご注目ください。特に部員30名全員が声を張り上げる早稲田の大声援は必見です。それは間違いなく日本一であると自負しております。

慶應学生の諸君、お互いに日頃の練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と個々に納得のいくプレーをして、早慶戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。この伝統ある早慶戦において勝利を収め、さらなる目標に進んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、常日頃から応援激励してくださっているOB・OGの皆さんに厚く御礼申し上げます。第55回早慶バドミントン定期戦が無事に開催されることを願って、主将抱負と代えさせていただきます。

WASEDA VS KEIO

炭火香房 楽丸 座数 全80席
テーブル席 60席

得 宴会コース

飲み放題 + 料理 5品 ¥2500
20:30以降 飲み放題 + 料理 3品 ¥2000

高田馬場駅前名店ビル4F

TEL 03-3209-5768

思い返せば4年前、私の大学バドミントン部でのスタートは、慶應高校3年生の時に見たこの早慶バドミントン定期戦だったような気がします。

その時の最も鮮明な記憶として残っているのが、慶應の落合主将、早稲田の船垣主将による主将戦でした。現役もOBも一体となって、早稲田大学記念会堂の1つのコートをぐるりと囲み、異様な雰囲気の中で試合をする両主将の姿は圧巻でした。

こんな環境で、こんな凄い試合を体験できるのは、数あるバドミントン部の中でも慶應と早稲田だけで、自分にはそれを体験できるチャンスがあるのだと、それで入部に気持ちがかきつきました。

その時から、大学4年の間に絶対早稲田を倒したいと思ってきました。個人としてもチームとしても未だその目標は達成できていません。1年生の時こそ取組貨を頂きましたが、まだ勝利には届いていないのです。そして、もう私に残された定期戦も今回を残すのみとなりました。さらには、今回は私が高校3年生の時から思い描いていた慶應義塾の主将として迎えることのできる定期戦でもあります。それだけに、今回に懸ける私の想いは並々ならぬものがあります。

今年には、早稲田大学が創立125周年を迎える記念すべき定期戦になるため、早稲田も並々ならぬ決意で今回の定期戦に臨んでくるものだと思いますが、慶應としてもそう易々と勝たせるわけにはいきません。来年には慶應も創立150周年を迎えるため、今回の定期戦を歴史に残る大熱戦にしたいと思っています。まずは私が主将として必ずや2勝し、チームの勝利に貢献するとともに、自分自身が高校3年生の時に受けた衝撃や感動を感じて頂けるような試合にしたいと思います。

そして、世紀の大熱戦を演じるのはもちろん私だけではありません。今年の慶應義塾というチームには、全員が主役になれる個性豊かなチームです。試合結果に名前が登場する選手のみならず、その選手以上に周回での応援や行動で中心になれる選手や、愚痴1つこぼさず積極的にチームのために動いてくれる選手がいます。昨年の早慶戦直後から主将としてチームの指揮をとって頂きましたが、本当にあらゆる場面で1人1人が主役となり、チームの力になるようにと考え、成長し、行動して来てくれました。そんな選手達に、主将として時には厳しく接することもありますが、私のことを選び、付いて来てくれた仲間には本当に感謝したいと思っています。

さらに今回の定期戦に際し、「打倒早稲田」を言葉に、私がこの1年間理想として描いてきたチームになることができました。主将として自信を持って胸を張って送り出せるチームです。どうぞ試合だけではなく、「慶應義塾」というチームの隅々までご覧になって頂きたいと思っています。

最後になりましたが、今年も変わらず定期戦が開催されるために尽力して下さいました両校OB・OGの皆様、両校の主務並びに準備委員の方々に、厚く御礼申し上げます。さらに、今年1年間には特に多くのOB・OGの皆様にお世話になりました。全ての方々への感謝の気持ちを込めて、チーム一丸となって戦いたいと思っています。

KEIO VS WASEDA

祝 早慶バドミントン定期戦

財務・資金繰りのことなら

宮地会計

税理士・経営士・産業能率大学教授

宮地 昌之 (昭和56年慶大経済卒)

〒245-0002 横浜市泉区弥生台 29-1-301 TEL045-812-1842

e-mail masayuki56@cam.hi-ho.ne.jp

H.P. <http://www.e-adviser.jp/miyachiao>

MAASEDA



主将
日下 直人
スガ 4
高松第一 (香川)

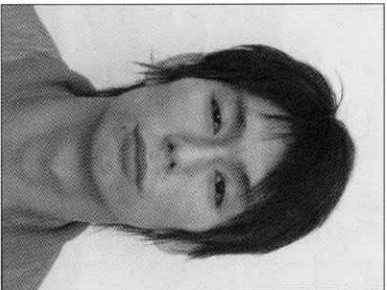
うどんと芋けんびをこよなく愛する彼。キシのあるスマツシユはその日食べたうどんのコシによって変わるらしい。



副将
楠木 博貴
社学 4
桐生商業 (群馬)

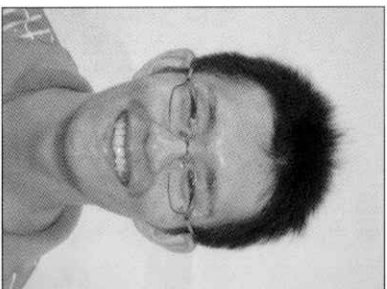
武士にあらがれる彼。無口のようである。幕末の話をしたら大変な事に... (自主規制)





主務
金子 尚弘
政経 4
早大本庄 (埼玉)

応援日本一を目指す早稲田のヤンキーな彼。しかし応援の勢いも加齢とともに落ち、1ゲームのみの活躍になりつつある。



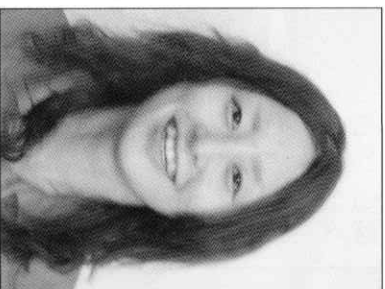
丸山 義夫
教育 4
北多摩 (東京)

早稲田の長老である彼。メガネにはスカウターがついており、ボディケアをしない部員を常に探している。



女子主将
金森 裕子
スポ 4
星陵 (静岡)

ココナッツ娘の異名を持つ彼女。実はコートを動きまわるのが面倒なゆえに肌がコンガリ焼けてしまったとか。



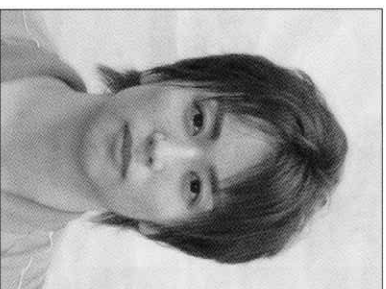
木村 咲絵
スポ 4
金沢向陽 (石川)

最近エス子に行きだした彼女。店員さんに芸能人に似ていると言われ気分上々だが、勘違いとしかいいようがない。



平山 優
社学 4
聖ウルスラ (宮城)

早稲田の元祖、優ちゃん。普段は出現率が低い、インカレ前やラスト期間になると出現率が急上昇する。レポートとテスト勉強を手伝ってえ〜。



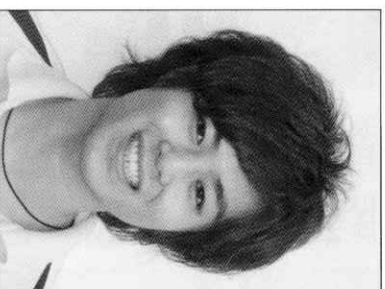
川口 謙太郎
スポ 3
八代東 (熊本)

人間の三大欲求がめっげう強い野生的な彼。眞の姿を知らない女子は、必ず彼の甘いマスクにおちてしまう。



木村 雄一郎
社学 3
八代東 (熊本)

早稲田出っ歯族の一人。毎日飲み歩いていて、そのため、お腹のサイズが去年の2倍になったらしい。



須藤 郷史
教育 3
常総学院 (茨城)

早稲田一の変態。独自の世界を貫き通すために周囲は常にドン引き。しかしながら、彼はそれについてでも気づかない…。



副務 大芝 純輝
 社会学 3 两国 (東京)
 早稲田一の働き者の彼。どんな難題も対処できるがビールとカルピスがないと干からびてしまう。ビールを彼ほど旨そうに飲む人は、この世にいないだろう。



永野 陽子
 スポ 3 札幌静修 (北海道)
 我が部のスピードスター。相手のせいでもってギャンブル中毒になってしまい、ポーカーでは引き際でブレーキを踏めない。



関谷 真由
 スポ 3 九州国際大附属 (福岡)
 早稲田出っ歯族の一人。今年のミス・ユニバース(?)に選ばれノリノリである。今後は世界を凱旋する予定である。



佐々木 彩香
 社会学 3 聖ウルスラ (宮城)
 『ね〜え』で何かと要求の多い彼女。試合中に転がる姿はまさにボールとしかいいようがない。



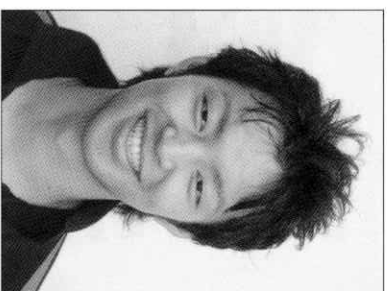
片岡 友紀
 一文 3 久居 (三重)
 早稲田の裏番長である彼女。既に早稲田を支配するだけの組織はできているらしい。



松浦 翔
 スポ 2 青森山田 (青森)
 ダブルスのみならず女子を転がすテクニックはもはや日本一。次のターゲットはあなたかもしれない。



羽石 直弥
 社会学 2 常総学院 (茨城)
 早稲田一のKY(空気が読めない)野郎。ほっとかれても暴走を続けるが、半年に一回の確率ですなる。



小松 俊介
 スポ 2 新宿 (東京)
 部内一リアクションが大きい彼。彼の欧米ノリに誰もついてこないし、誰もついていきたくない。



江淵 愛美
スポ2
高岡西 (富山)

早稲田のえびちゃんとして活躍中の彼女。次世代のオグシオのボジションを狙っているらしく、フライデーを警戒している。



大條 小真姫
社学2
滋賀女子 (滋賀)

天然キヤラがウリの彼女。すべては計算通りらしいが、実際は誤算だらけである。



丁塚 真紀
教育2
聖ウルスラ英智 (宮城)

早稲田のリア・テイゾンの異名を持つ彼女。セクシーポーズをさらせたら世界一、無料サービスもあるらしい。



上田 拓馬
スポ1
埼玉栄 (埼玉)

数多くの女性ファンを持つ彼。しかし、時にネコ語をあやつり『にゃんにゃん』で会話するらしい。

祝 早慶定期戦

各種記念イベント調製

マーク・ワッペン・旗・腕章

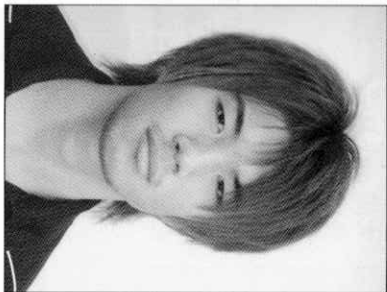
オギワラ

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-8-24

早大東門前大隈通り

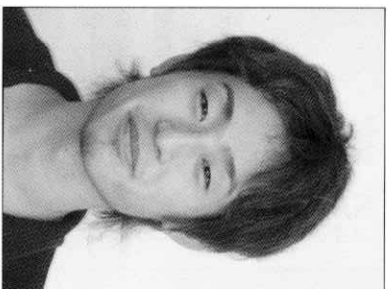
TEL 03 (3202) 7846

FAX 03 (5273) 8285



佐々木 啓
又ポ1
埼玉栄 (埼玉)

ポーカークリエイターである彼。時々、暴走する姿は必見。悩みは常連客となった店で早慶戦の広告が貰えなかったことである。



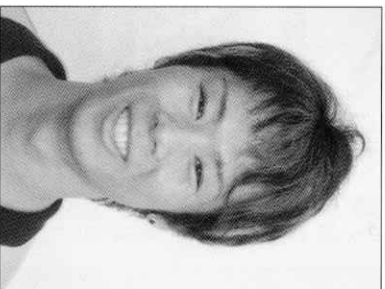
山田 里司
又ポ1
勝山 (福井)

ジャンクフード大好き人間。『スコーン』を食べるか、拓馬をいじるかして大学生生活を満喫している。



西澤 潤
人科1
延暦寺比叡山 (滋賀)

マスオさんのモノマネで監督の心さえ驚かした彼。シニールなリアククションの面白さには定評がある。



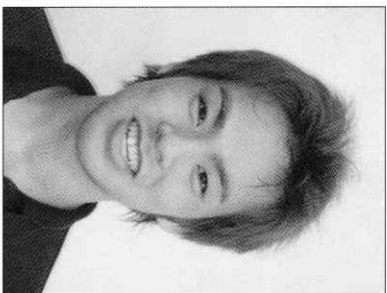
山田 雄一
教育1
関東第一 (東京)

我が部で流行の『山ビース』を生んだ彼。様々な特徴を持つためにいじられてばかり。今年の流行語大賞に期待がかかる。

TEL・FAX
3232
六六三五

早稲田
源兵衛

人気ある早稲田の
名物源兵衛の
シニールの味



西本 卓矢
スポ1
伊丹北 (兵庫)

最近月を見て大猿に変身した彼。胃の中にはコーラ専用の貯蔵タンクがあるらしい。語尾に「っす」と言う癖は直せない。



木村 唯菜
スポ1
金沢向陽 (石川)

ギャルの称号を譲りうけた彼女。今年は美白が流行するらしく人一倍日光には気を配っている。



伊藤 小葉美
教育1
聖ウルスラ英智 (宮城)

何かあれば『大丈夫です』と対応する彼女。その言葉の信頼度は現在50%に満たない。

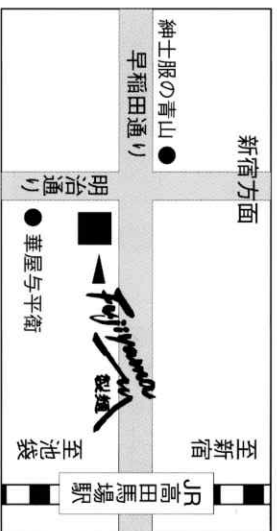


堀川 実穂
教育1
関東第一 (東京)

偉大な兄をH大学に持つ彼女。スラッシュの破壊力は驚異。打つ瞬間をじっくり見ると、腕が膨張しているらしい。

早稲田大学バドミントン部推薦 つけ麺

新宿区高田馬場2-1-1センターアルタワー1F
TEL 03 (3208) 5552



KEIJO



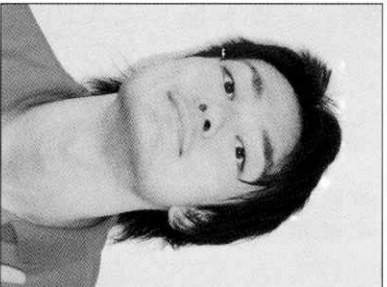
主将
手塚 純平
政 4

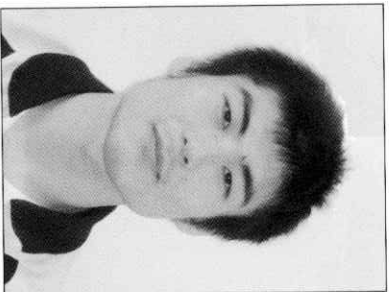
慶應義塾(神奈川)
我が部の絶大なる大黒柱。苦
節4年苦難を乗り越え、鋼鉄
の肉体を手に入れた。最早針
で刺しても刺さらない領域。は
ち切れんばかりのたわむれに突
ったぶりんぶりんの太股が魅
力。筋肉番付、挑戦者募集申!!



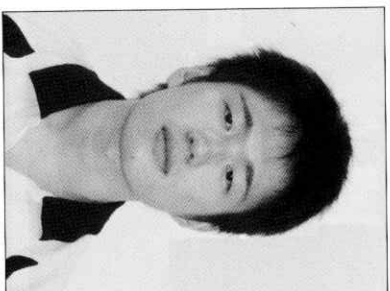
副将
中村 翔一
環境 4

東海(愛知)
我が部のムーブメーカー。
独特な感性の持ち主であり、
また常にハイテンションを
維持することが可能。お酒
と“ボブスコ”が入ればもう
誰も止められない、とい
うより止める気も起さない。





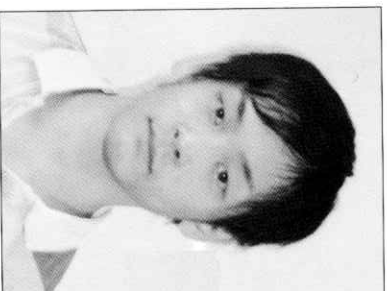
主務 吉永 裕貴
 攻⁴ 東葛飾 (千葉)
 故郷である柏をこよなく愛する吉永さん。いつも周りに気を配り、先輩から慕われる彼は、基礎打ちを頼みやすい人ランキンング不動の1位である。



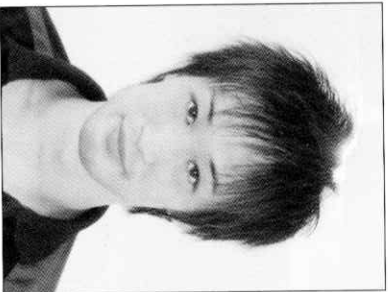
坂根 宏志
 理⁴ 公文国際学園 (神奈川)
 慶應バド部広報を担当する。その声、その風貌、その拳動、彼のその全てが『高級感』で満ち満ちている。あの〜結婚してもらえませんか？



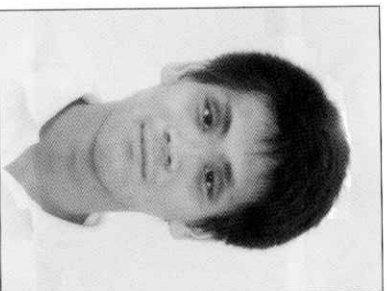
女子主将 高橋 明子
 看護⁴ 慶應義塾女子 (東京)
 輝く我が部の縄跳びチャンピオン、そして頼れる女子主将。二重跳びは速すぎて縄が見えない。鞆にはチャップとデール、そして胸には熱い闘志がつまっている！



光井 翔
 商³ 浅野 (神奈川)
 Mr.バプアーバスマン。権力を振りかざして後輩共を統率し、光井軍団を形成する。それでも皆から慕われているのは、彼の楽しい人格に加えて、努力を怠らないからである。



山口 悦向
 商³ 東海 (愛知)
 常に向上心を忘れない彼は何事にも貪欲。精神力もかなりのもので、飲み会で部員たちにならぬにやむを得ず、そのメンタルで何とか乗り越えてきた。



前田 賢志
 理³ 慶應義塾 (神奈川)
 リングネーム: ダイナソニー前田
 必殺技: ジェーンバスター、スクリーンバドライバー
 「俺に触ると怪我するぞ、張り切って行きマッソー！」



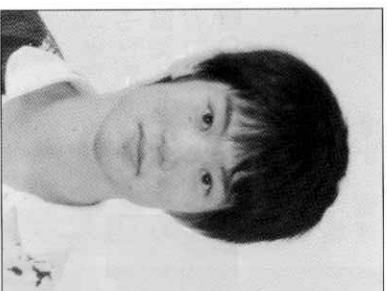
副務 和栗 恵
 攻³ 慶應義塾女子 (東京)
 我が部の誇る“最キョウ”の副務。彼女に「部費もう少し待ってくれない？」などと言おうものなら。ラケットはマッスルパワー、ではなくナスビードを愛用している。



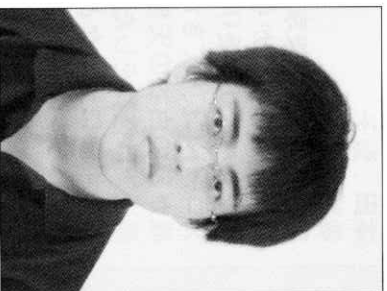
藤原 めぐみ
 環境³ 大和西 (神奈川)
 不動の女子エース。しかしバドイスをもらおうとすると「ここでギュッとやってシユンシユンで感じて〜」。…これが世に言う“天才肌”なのだろうか？



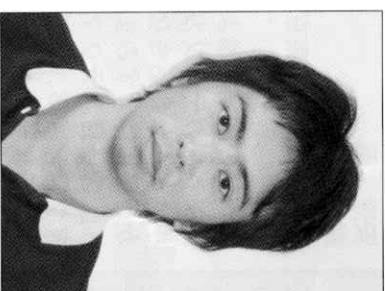
高橋 慧
法²
慶應義塾 (神奈川)
自分が何より大好きなお調子者。先日、キムタクよりも自分の方がカッコいいと言いつつ、まあ偉業を成し遂げた。普段は明るく楽しい奴だが、目をつけた女性の前はクールを装う。



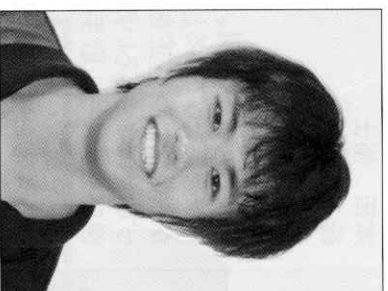
石岡 陽平
経²
慶應義塾 (神奈川)
自称、お姉さんキラー、兼おばさんキラー。その愛くるしい笑顔を振り撒き、日吉キャンパス生協前で複数名のかわいらしい女性を一本釣り。



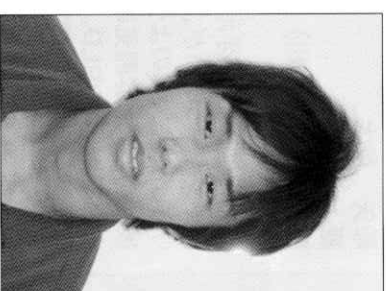
中津 哲彦
経²
開智 (埼玉)
部員から、特に同期からの信頼を集める男。物静かな彼は以外と毒舌だったりもする。普段が普段なだけに一つ一つの言葉の重みがある。高橋Kの1000倍はある。



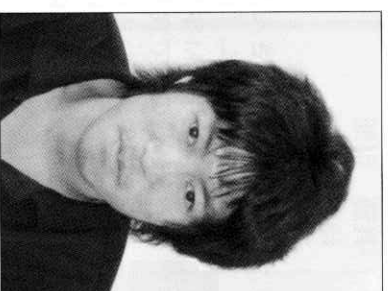
渋谷 康太
商²
東葛飾 (千葉)
ただの普通の人。だいたいのこと平均的にこなし、無難に平和に過ごす。しかし部員の皆は言う、「お前がいてくれた本当に本当によかった」とね...



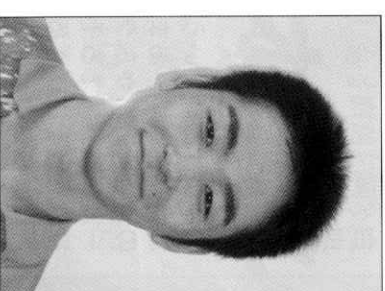
中村 卓磨
理²
海城 (東京)
1 岡への想いを断ち切れず、苦悩の日々が続く。1 岡には案の定受け入れてもらえず、夏の暑さと相まって、練習中も胸のムカムカが止まらない。



福岡 淳一
理²
高松商業 (香川)
いつまでたっても讃岐弁が抜けずにいたが、所々で標準語が飛び出し、心なしか性格も丸くなったようで、良い兆候である。ただ本人は「〜じゃん」の語尾を激しく嫌悪している。



中島 優
環境²
都留 (山梨)
部内切っののロマンチストである彼は、山梨の雄大な自然をこよなく愛している。中でも実家から見える景色が最高らしいが、最近家の前に謎の建造物が立ちあはばかり怒りを隠せないでいる。



森本 修介
環境²
日本大学第三 (東京)
その爽やかなスマイルで男も女もメロメロにしてしまう彼。骨抜きにされた部員たちはそんな彼の全てを許してしまう。しかしコートに立てば一転、頼もしい男へと変貌する。



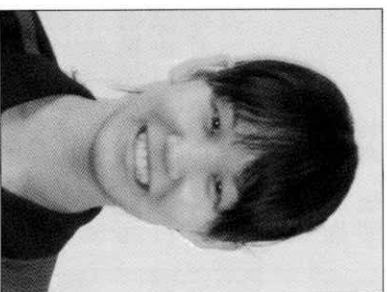
高橋 千怜
経2
大妻多摩 (東京)

綺麗なフォームの藤原さんのようになりたいと日々奮闘中。練習前にはよく、両手で小さくガッツポーズをして「よし！」と自分に気合を入れている。



中井 舞
商2
三鷹 (東京)

時給714円という信じられないアルバイトから解放され、元氣を取り戻した中井ちゃん。コート内での軽やかなフットワークと、ギャグマンガへの造詣の深さには定評がある。



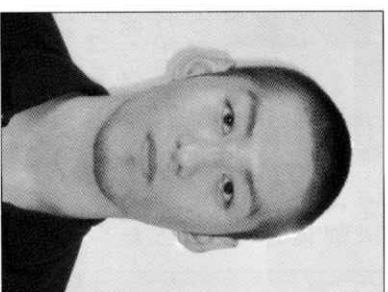
安達 華
理2
慶應義塾女子 (東京)

我が部の副務を誰よりも愛するネガティブガール。どんな会話もなぜか最後には「すみません」の一言。テクニクマヤコンX2、ポジティブにな〜れ！



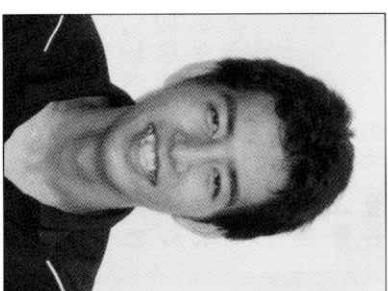
本田 聖子
看護2
慶應義塾女子 (東京)

昨年の足の故障から、長いリハビリを乗り越えコートに戻ってきた、我が部の白衣の天使。最近では怪我をした同期の相談に乗るなど、相変わらぬ優しい一面も見せている。



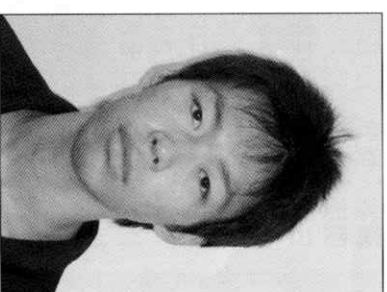
船矢 竜太
経1
慶應義塾 (神奈川)

見た目は田舎の牙えないヤンキーっぽいのが、喋り方は引きこもりのよう。彼独特の間と雰囲気は、まさに船矢WORLD。そんな彼の私服は専らランカ、スウェット。



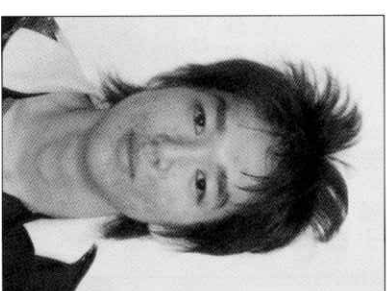
本田 裕士
経1
浦和 (埼玉)

我が部の生き字引。誰かが会話をしていると透かさず、補足・訂正を行ってくれるおもしろい奴。復唱もテノール歌手張りの声量でこなしてしまっやっぱりおもしろい奴。



白ヶ澤 直樹
理1
宮崎大宮 (宮崎)

巷では有名である日吉のゴミ屋敷の住人。彼の中には掃除という概念が存在せず、あまりの汚さに近所からクレームが殺到。そろそろ役人も腰を上げざるを得ないらしい。



兵藤 博朗
総合1
浅野 (神奈川)

直属の先輩M井さんとは対照的に好青年。「目標とする選手はM井さん」と部員の前で宣言したものの、言わされている感は否めない。彼のこれからの活躍に期待大！



清家 薫
文¹
松山東 (愛媛)

愛媛産の天然少女。風が吹いたら飛べそうだが、その腕とラケットはどちらが細いのだろう。可愛らしい方言で周囲を和ませる我が部の癒し系。萌え～



石川 陽菜

法¹
慶應義塾女子 (東京)
1年生の中で1番のしつかり者。腕を横方向に振る女の子らしい走り方だが、なぜかラケットはとて速い。また、あまり知られていないが彼女もユニーク愛用者である。

祝 早慶バドミントン定期戦

良い品を どこよりもお値打ちに

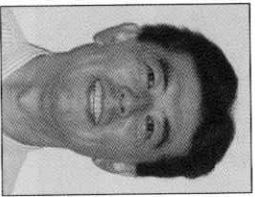
紳士服 才オニシ

代表取締役 大 西 紀 幸 (昭和57年慶應大学法学部卒)

平針店 名古屋市天白区平針2-1713 TEL 052 (804) 1235

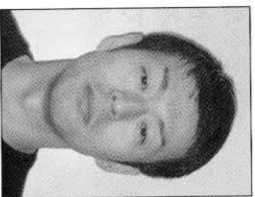
豊田店 豊田市広路町1ジヤスコ2F TEL 0565 (34) 1235

ホームページ <http://www.ohnishi0024.jp/>



監督 五月女 季孝
Toshitaka Saotome
昭和60年理工学部卒
桐朋学園(東京)出身
野村アセットマネジメント

夢は“早慶戦に勝利すること”。口癖は『100分の1の積み上げ』。どんなに早稲田の選手が強かろうと、100回戦えば絶対に1度は勝てるはずだ。その100分の1の可能性を、毎日の練習で100分の2、3...と積み上げていけば、必ずや夢は達成されると信じている。



コーチ 奥出 裕充
Hiroimitsu Okude
平成5年文学部卒
保谷(東京)出身
共同通信社

大学2年生の時、彼の活躍により慶應が早慶戦に勝利し、最優秀選手賞を獲得。しかしそれも既に17年も前のこととなってしまった。それ以来、慶應は早慶戦勝利から遠ざかっている。満を持しての登場により、今度はコーチングスタッフとして慶應を勝利に導く。



コーチ 巽 弘樹
Hiroki Tatsumi
平成6年経済学部卒
慶應義塾(神奈川)出身
明治安田生命保険

コーチ就任5年目を迎え、年齢的にも円熟味を増しつつあるが、シヨットの切れ味は未だ健在である。夏合宿では、3時間に亘りコートに入りっぱなしで現役学生を振り廻し続けた。慶應の選手達に、シヤトルへの執念、勝利への執念を植えつける。



コーチ 清水 聖
Kiyoshi Shimizu
平成8年法学部卒
桐朋学園(東京)出身
三井不動産

見た目は爽やかな好青年。しかし、実際には、他人に厳しく、自分にはさらに厳しい厳格者。有言実行を信条とし、熱いハートを持つ情熱派である。早慶戦では3年生の時に取組賞を受賞。早慶戦の戦い方を伝授するため、本年度よりコーチに就任。



コーチ 辻 典宏
Norihiro Tsuji
平成14年総合政策学部卒
東海(愛知)出身
トヨタ自動車

円陣を組んだ現役部員を前に話をするときでも、顔が紅潮してしまうほど“シヤイ”な辻コーチ。学生時代は、海外選手のプレーをビデオ分析するなど探究心旺盛であった。本年度よりコーチに就任し、その鋭い分析力で、慶應に勝利の流れを呼び込む。



コーチ 永島 由紀子
Yukiko Nagashima
平成15年法学部卒
三輪田学園(東京)出身
モデル

容姿もプレースタイルも、ボーイッシュでカッコイイ由紀子先輩は、女子部員の間で憧れの存在である。早慶戦に勝利し美酒を浴びるため、早慶現役学生に正しく上品なお酒の飲み方を教えるために、本年度よりコーチに就任した。